

科目名	発達障害と医療特論	担当教員	堀 有伸
科目属性	専門科目D	単位数	2単位(面接0.25単位)
【授業の目的・ねらい】 ・発達障害の基本的な概念について、特に認知機能障害の内容についての正確な理解を確認する。 ・発達障害への医療的支援の中心が、本人および周囲への適切な情報提供と、環境調整を通じて行われる二次障害の予防であることを理解する。			
【授業計画】 提示したテキスト・参考文献を中心に、発達障害の中核にある認知機能障害と、そこから派生する二次障害の概念について学習する。 スクーリングでは、テキスト『アスペルガー症候群のある子どものための新キャリア教育』『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』の内容を中心に、学修する。事前課題と、スクーリングへの参加状況の両方を判断して、スクーリングの可否について判定する。スクーリング時に事後課題の内容について伝達する。			
【評価方法】 評価は、事前課題 30%、スクーリング 30%、事後課題 40%の割合で総合して行う。			
【教科書】 1. 齊藤万比古. (2009) 「発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート」, 学研教育出版 (ISBN-13: 978-4054041691) 2. 本田秀夫/日戸由刈. (2013) 「アスペルガー症候群のある子どものための新キャリア教育」, 金子書房 (ISBN-13: 978-4760821686)			
【参考図書】 1. ウタ・フリス. (2009). 『新訂 自閉症の謎を解き明かす』, 東京書籍 (ISBN-13: 978-4487799190) 2. ドナ・ウィリアムズ (2000), 『自閉症だったわたしへ』, 新潮文庫 (ISBN-13: 978-4102156117) 3. カトリン・ベントリー. (2008). 『一緒にいてもひとり アスペルガーの結婚がうまくいくために』, 東京書籍 (ISBN-13: 978-4487802708)			